

大川原 ライフ LIFE³⁹

2022年12月

大川原とは…大川原は福島県大熊町にある地区です。町は、2011年3月の東日本大震災に伴う原発事故により全町避難を余儀なくされましたが、2019年4月にこの大川原地区と中屋敷地区の避難指示が解除されました。さらに2022年6月には下野上地区など町内の一部で避難指示が解除され、住人が日々の暮らしを再開しています。

発行：大熊町大川原LIFE編集部 問合せ先：mirai@town.okuma.fukushima.jp



11月3日、フルーツガーデン関本が、
1日だけ、下野上地区で直売を復活!!
今は、千葉県を拠点に果樹栽培を続ける
関本家の「大熊の果物」を味わおうと、
町内外から、多くの方が行列をつくり
ました!!



大熊は僕の「根源」



キウイを買いに来た人、関本家に会いに来た人、ふらっと来た人… いろいろな方が様々な目的で足を運んでくださいました。“直売所”という形で、大熊町に来てくれる「きっかけ」をつくれて良かったです。そんな魅力を持つものを作っていることを、自分の誇りにも感じました。今、自分が農業をしているのは、先代たちが積み重ねてきた伝統のおかげ。大熊町は僕にとって、こだわり・モチベーション・希望などすべての「根源」です。



「来て下さった人に会えてとても嬉しかった!!」



フルーツガーデン関本
5代目 関本 元樹さん

元樹さんの果樹栽培を見守る、3代目の祖父 好一さんは「もうキウイは言うことない」と太鼓判を押します。梨の方は「ちよつと難しいんだ」と好一さん。町民によく自慢される大熊の梨も食べられる日を楽しみにしています。



「おめが氣やかでおどろきました!!」



「甘くておいしいキウイでした。」

直売所の中には、震災前、震災後の一家の様子を表す

写真や道具などが並べられていました。今回の直売に向けて片付けをすませてきたそう

です。「物一つひとつに思い出が宿っていて、廃棄するのが惜しいものばかりだった」

と元樹さん。「でも、来年再来年

ではなく、10年後、50年後の後世のための決断だ」と思うと、きれいになったことはとても嬉しく、さらなる可能性を感じました」と話してくれました。

思い出の写真が、11年前の名残とともに飾られていました。



きれいに片付けられた直売所。

6月末に避難指示が解除された地域での直売。片付けの際には、すでに地域に帰った方に水や道具を借りたりもしたそうです。

解除前に直売の計画があったものの、実際の解除には立ち入りの「安心材料」を得たようで「ホッとした」と言う元樹さん。私も町の中で様々な動きが広がっていくことが嬉しいです。

元樹さんの母・奥子さんが書く「元気だよ」の字を書くこと、言葉で表現すること、書いたものを手に取るのも好き」と奥子さん。わかりやすい。



元気だよ

フルフル・デ・関本

【TEL】 099-5292-7203

お持ちしました!!

キウイフルフル旬は今

	10月	11月	12月	1月~3月
紅妃 (小)				
ゴールデンキウイ (大)				
ハイワイ (特)				

母のひとりごと

娘が家を出た。多岐から新緑が咲き出す。長女が帰る。今更には... 母のひとりごと。

まいまいいらいらんのバトン

明治村に福島県大野町で、FACの研修者として... 今年もまた研修生が研修に来る。今年もまた研修生が研修に来る。今年もまた研修生が研修に来る。

今年の10月号。キウイのこと、農園のこと、家族のことが伝わります。

手書きのおたよりの先輩発見!!